

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 横浜ゴム株式会社

上場取引所 東名

コード番号 5101 URL <http://www.y-yokohama.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 南雲 忠信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 松尾 剛太

TEL 03-5400-4520

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	466,790	13.8	26,382	39.7	27,489	92.6	16,687	96.4
28年12月期第3四半期	410,218	△7.5	18,890	△38.0	14,274	△44.7	8,497	△53.5

(注)包括利益 29年12月期第3四半期 17,940百万円 (139.9%) 28年12月期第3四半期 △44,985百万円 (△614.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	104.07	—
28年12月期第3四半期	53.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	912,662	365,237	39.2
28年12月期	902,990	355,044	38.6

(参考)自己資本 29年12月期第3四半期 358,136百万円 28年12月期 348,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	26.00	—	26.00	52.00
29年12月期	—	31.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	31.00	62.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当26円 記念配当5円

29年12月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当26円 記念配当5円

詳細は、平成29年8月10日発表の「『創立100周年記念配当』剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	660,000	10.7	50,000	18.2	48,000	22.7	30,000	59.7	187.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	169,549,081 株	28年12月期	169,549,081 株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	9,209,896 株	28年12月期	9,208,651 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	160,339,683 株	28年12月期3Q	160,341,540 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【添付資料】

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

海外生産拠点である「ヨコハマタイヤ フィリピン INC. (YOKOHAMA TIRE PHILIPPINES, INC.)」において、平成29年5月14日に発生した火災につきましては、地域の皆様をはじめ、お客様、行政及び関係各方面に多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことをあらためて深くお詫び申し上げます。

早期の復旧に向けて、全社一丸となって真摯に取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年9月30日）における当社グループをとり巻く環境は、国内では、個人消費の回復及び輸出の増加など企業活動の持ち直しが続き、景気は緩やかに回復しました。

また、海外においても、米国では一部に大型ハリケーンの影響があったものの、引き続き良好な個人消費と堅調な企業業績により景気回復が持続したほか、欧州でも総じて緩やかな回復が継続し、加えて、中国でも、景気は底堅く推移しています。

国内のタイヤ業界においては、新車用タイヤ、市販用タイヤ共に前年を上回るなど好調に推移しました。

こうした状況の中、当社グループは、販売力の強化、業務の効率化、コスト削減、タイヤのメーカー出荷価格改定などに取り組み、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は4,667億90百万円（前年同期比13.8%増）と過去最高の売上高となりました。

また、連結営業利益は263億82百万円（前年同期比39.7%増）となり、連結経常利益は274億89百万円（前年同期比92.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は166億87百万円（前年同期比96.4%増）となりました。

なお、火災による固定資産やたな卸資産の滅失損失及び異常操業損失等の損失金額は、通期の連結業績において、特別損失に50億円程度を見込んでおります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① タイヤ

売上高は、3,331億30百万円（前年同期比7.3%増）で、当社の総売上高の71.4%を占めております。新車用タイヤの販売は好調で、特に中国においては、売上高は前年を大きく上回りました。

市販用タイヤの販売では、スタッドレスタイヤの最重要性能である氷上制動を大幅に向上させつつ、ウェット性能を一段と高めることを目指したヨコハマ・スタッドレスタイヤの新商品「iceGUARD 6（アイスガード シックス）」を発売するなど、高付加価値商品の販売を中心に好調で、販売量、売上高ともに前年を上回りました。

また、海外でも、東南アジア、ロシアを中心に好調に推移しました。

② MB（マルチプル・ビジネスの略）

売上高は、805億46百万円（前年同期比0.5%減）で、当社の総売上高の17.3%を占めております。

ホース配管事業は、東南アジアでの自動車向け販売が堅調だったことに加え、中国及び国内での建機市場の回復等もあり、売上高は前年同期を上回りました。

工業資材事業では、海外での海洋商品の販売は低調でしたが、一部に回復の兆しが見えるほか、ゴム支承等土木関連商品が好調だったことにより、売上高は前年同期を上回りました。

ハマタイト・電材事業は、海外における自動車用接着剤等の販売が引き続き好調で、売上高は前年同期を上回りました。

航空部品事業では、民間航空機向けが低調で、売上高は前年同期を下回りました。

③ ATG

売上高は、464億92百万円で、当社の総売上高の10.0%を占めております。

農業機械用・産業車両用タイヤを始めとするオフハイウェイタイヤは、穀物価格の下落等による農業用機械の需要低迷が続いているものの、一部に回復の兆しも見られ、新車用タイヤ、市販用タイヤの売上高は、想定どおりに推移しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は9,126億62百万円となり、前期末に比べ96億72百万円増加しました。これは、主にたな卸資産が増加したことによるものです。

負債は5,474億25百万円となり、前期末に比べ5億20百万円減少しました。これは、主に長期借入金が減少したことによるものです。

純資産合計は、3,652億37百万円となり、前期末に比べ101億92百万円増加しました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回公表値（平成29年8月10日公表）を修正しておりません。

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当する事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,347	58,085
受取手形及び売掛金	155,789	150,035
電子記録債権	8,447	9,307
商品及び製品	70,671	79,460
仕掛品	7,409	9,191
原材料及び貯蔵品	26,759	29,832
その他	22,849	27,384
貸倒引当金	△1,854	△2,993
流動資産合計	350,421	360,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	95,430	95,342
機械装置及び運搬具（純額）	114,610	112,768
その他（純額）	88,866	94,674
有形固定資産合計	298,907	302,785
無形固定資産		
のれん	88,564	82,409
その他	54,996	51,722
無形固定資産合計	143,560	134,131
投資その他の資産		
投資有価証券	92,616	103,089
その他	18,016	12,893
貸倒引当金	△532	△541
投資その他の資産合計	110,100	115,442
固定資産合計	552,568	552,360
資産合計	902,990	912,662
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,252	67,323
電子記録債務	7,487	7,756
コマーシャル・ペーパー	—	11,000
短期借入金	61,879	71,739
未払法人税等	4,990	4,526
役員賞与引当金	150	82
その他	61,648	56,297
流動負債合計	201,408	218,726
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	224,504	204,322
退職給付に係る負債	14,001	13,978
その他	58,031	60,398
固定負債合計	346,537	328,699
負債合計	547,945	547,425

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,909	38,909
資本剰余金	31,055	31,058
利益剰余金	240,478	248,831
自己株式	△12,113	△12,116
株主資本合計	298,329	306,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,093	47,116
繰延ヘッジ損益	1,083	△585
為替換算調整勘定	15,023	10,084
退職給付に係る調整累計額	△5,779	△5,161
その他の包括利益累計額合計	50,421	51,454
非支配株主持分	6,293	7,100
純資産合計	355,044	365,237
負債純資産合計	902,990	912,662

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	410,218	466,790
売上原価	269,116	308,695
売上総利益	141,102	158,095
販売費及び一般管理費	122,211	131,712
営業利益	18,890	26,382
営業外収益		
受取利息	180	363
受取配当金	1,230	1,309
為替差益	—	962
その他	1,693	2,763
営業外収益合計	3,103	5,398
営業外費用		
支払利息	1,928	2,461
為替差損	3,478	—
その他	2,313	1,830
営業外費用合計	7,720	4,291
経常利益	14,274	27,489
特別利益		
固定資産売却益	—	760
特別利益合計	—	760
特別損失		
固定資産除売却損	456	403
火災損失	—	2,887
特別損失合計	456	3,291
税金等調整前四半期純利益	13,817	24,958
法人税等	5,383	8,213
四半期純利益	8,434	16,745
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△63	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,497	16,687

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	8,434	16,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,692	7,033
繰延ヘッジ損益	△524	△1,668
為替換算調整勘定	△42,236	△4,788
退職給付に係る調整額	33	617
その他の包括利益合計	△53,420	1,194
四半期包括利益	△44,985	17,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,506	17,719
非支配株主に係る四半期包括利益	△478	220

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	タイヤ	MB	A T G	計				
売上高								
外部顧客への売上高	310,472	80,912	12,945	404,330	5,888	410,218	—	410,218
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,224	63	2	1,290	10,254	11,544	△ 11,544	—
計	311,697	80,975	12,947	405,620	16,142	421,762	△ 11,544	410,218
セグメント利益 又は損失(△)	16,579	4,686	△ 2,835	18,429	522	18,952	△ 61	18,890

(注) 1. 「その他」の区分は、スポーツ用品の販売等であります。

2. セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、Alliance Tire Group B.V.の全株式を取得し、Alliance Tire Groupを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「A T G」のセグメント資産が、178,807百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、Alliance Tire Groupを連結の範囲に含めたことによる当第3四半期連結累計期間ののれんの増加額は、「A T G」において77,864百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	タイヤ	MB	A T G	計				
売上高								
外部顧客への売上高	333,130	80,546	46,492	460,170	6,620	466,790	—	466,790
セグメント間の内部売上高 又は振替高	942	78	12	1,033	13,280	14,313	△ 14,313	—
計	334,073	80,625	46,504	461,203	19,901	481,104	△ 14,313	466,790
セグメント利益	19,037	4,396	2,017	25,451	1,009	26,461	△ 78	26,382

(注) 1. 「その他」の区分は、スポーツ用品の販売等であります。

2. セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(投資有価証券の売却)

当社は、平成29年9月21日に開催された経営会議において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、平成29年10月12日から平成29年11月2日にかけて売却致しました。

これに伴い、平成29年12月期第4四半期連結会計期間において投資有価証券売却益4,272百万円を特別利益に計上する予定であります。